



地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所（環農水研）  
担当：生物多様性センター 山本・相子  
電話：072-833-2770 FAX：072-831-0229

## プレスリリース

2021年7月9日 14:00

府政記者会 会員各位  
大阪科学・大学記者クラブ 会員各位  
枚方記者クラブ 会員各位

### 生物多様性を考えるきっかけに！

## 天然記念物イタセンパラが7月19日、栃木県へ出発。

環農水研生物多様性センターは、絶滅が危惧される国指定天然記念物、国内希少野生動植物種の淡水魚イタセンパラ※<sup>1</sup>を1972年から当センター内の保存池で飼育するとともに、淀川への野生復帰に取り組んでいます。



この度、当センターで飼育しているイタセンパラの一部が、栃木県なかがわ水遊園20周年記念企画展において、7月20日～8月31日の間、展示されることになりました。

イタセンパラに馴染みのない関東の皆さまにも生きた姿を見ていただける貴重な機会を提供し、さらにはイタセンパラを脅かす要因（外来種の侵入など）や産学官民が連携した野生復帰に向けた努力などを併せて知っていただくことで、広く生物多様性を考えるきっかけになるものと期待しています。

#### 1. なかがわ水遊園での展示期間

令和3年7月20日（火曜日）～8月31日（火曜日）

#### 2. 出発：生物多様性センター（報道関係者にのみ公開）

令和3年7月19日（月曜日）午前9時半から10時

当日は、職員が見守る中、なかがわ水遊園の担当者に連れられイタセンパラ6個体が出発します。

※なかがわ水遊園の20周年記念企画展に関するプレスリリースは、本日付で栃木県内の記者クラブへ提供されます。

当センターには、まだたくさんのイタセンパラがいますので、開館時はいつでも水槽展示や保存池を見学することができます。

生物多様性センター：大阪府寝屋川市木屋元町10-4（駐車場有）

開館日・時間：平日の午前9時30分から午後5時まで

※1 イタセンパラとは：イタセンパラは現在、大阪府淀川、富山県氷見市、濃尾平野の河川にのみ生息する日本固有種です。淀川ではワンド※2に生息し、その可憐な姿などから“淀川のシンボルフィッシュ”と呼ばれています。1974年に国指定の天然記念物（文化財保護法）、1995年に国内希少野生動植物種（種の保存法）に指定されました。当センターでは環境大臣からイタセンパラ保護増殖事業計画の認定※3を受け、センター内での飼育（生息域外保全）、淀川での野生復帰や生息調査について、国交省淀川河川事務所やイタセンネット※4といった多様な主体と連携して実施しています。当センターで生息域外保全を行っているイタセンパラは、天然記念物等に指定される以前に淀川から採取した個体群に由来します。なお今回、イタセンパラの栃木県への移動や展示は、文化庁および環境省の許可を受けて実施します。

※2 ワンド：川の本流に沿ってある池状の場所をいい、本流とつながっているか、増水時に接続するような水域のことです。池のように流れが無いが、あっても非常に緩やかで、多くの淡水魚の生息場所となっています。

※3 保護増殖事業計画の認定：絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律の規定により環境大臣により認定されるものです。所内池での系統保存や展示、淀川における生息状況調査などについて認定を受け、イタセンパラの飼育や捕獲などが認められています。当センターは2009年から認定を受けて事業を行っており、更新した計画が2021年3月に認定されました。

※4 淀川水系イタセンパラ保全市民ネットワーク（イタセンネット）は、市民団体、大学、企業、行政などで構成され、淀川においてイタセンパラが生息できる生態系を保全するための活動を行っています。2011年8月28日設立、2021年3月現在 43団体。

地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所  
生物多様性センターのWEBサイト

<http://www.kannousuiken-osaka.or.jp/biodiv/>



栃木県なかがわ水遊園のWEBサイト

<https://tnap.jp/>



生物多様性センターへのアクセス

- ・ 駐車場有
- ・ 京阪本線 香里園駅下車（西口）、西へ徒歩 20 分。
- ・ 京阪本線 寝屋川市駅（西口）から太間公園行き乗車（20 分程度）、終点で下車。北へ徒歩 5 分。
- ・ 京阪本線 香里園駅（西口）から京阪コミュニティバス（タウンくる木屋経由ルート）に乗車（10 分程度）、木屋元町停留所で下車。西へ徒歩 5 分。

